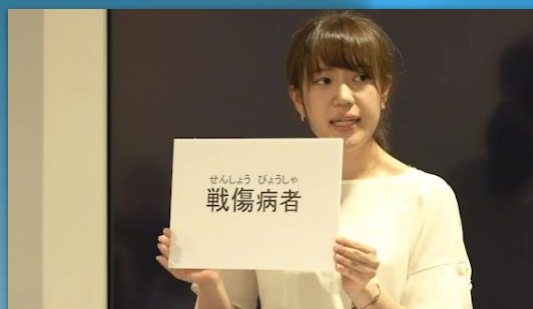


# 戦後世代の語り部が 戦争の悲惨さを伝えます

しょうけい館では、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦を伝えるための事業のひとつとして、「次世代の語り部」による講話を実施しております。



語り部講話の様子

## 実施日時

◆3月10日（日） 13:00～14:00

戦争で「手」を失った戦傷病者について2名の語り部から紹介します。今回は、3月5日から開催の春の企画展「義手と仕事～戦争で手を失った戦傷病者～」の内容に合わせた講話となっております。また、講話の合間に学芸員から企画展についての解説も行います。

### ・講話1「上肢障害で生き抜いた戦後」

手や腕の機能を失いながらも努力を重ねて生きてこられた戦傷病者2名のお話しをします。

### ・講話2「片腕で取った自動車運転免許」

インパール作戦で左腕を失い、戦後は左腕で運転免許を取得して働いた方のお話しをします。

## 会場

しょうけい館 シアター

（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階） 地下鉄九段下駅7番出口徒歩3分

※詳しくは裏面をご参照ください。

# 「次世代の語り部」のご紹介

## 次世代の語り部事業について

- 戦後75年以上が経過し、戦争体験者の高齢化が進み、体験を語ることができず人がますます少なくなっています。そのため、戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世に語り継いでいく必要があります。
- 当館では、2019年度から戦後世代を対象に、これら戦中・戦後の労苦を次世代に語り伝えてゆく「戦中・戦後の労苦を伝える次世代の語り部事業」を実施しています。

## 語り部について

- 語り部は、当館で3年間の研修を修了された20代～70代の方々です。この方々ご自身は戦争や戦傷病者としての体験はありません。

## 講話内容

- 講話内容は、「戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦」についてです。
- しょうけい館では、約200人の方々の証言を映像に収録してきました。この証言者の体験を中心に当時の社会状況などを織りまぜながら、写真やパネルを使って講話をおこないます。

## 会場

- 地下鉄をご利用の場合
  - ・東京メトロ「九段下駅（東西線・半蔵門線）」  
7番出口より徒歩3分
  - ・都営地下鉄「九段下駅（新宿線）」  
7番出口より徒歩3分
- バスをご利用の場合
  - ・都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
  - ・千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」より徒歩5分



お問い合わせ先

しょうけい館（戦傷病者史料館）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階

TEL：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826

Email：yoyaku@shokeikan.go.jp